

令和7年度施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策 【分野】	子どもを産み育てやすく豊かな学びで未来を 拓くまちづくり 【子育て・教育分野】		施策	17_歴史文化	所管部長 取りまとめ所属	歴史文化推進担当部長 教育総務課歴史文化担当	
施策の内容	文化財の地域資産としての理解を深め、次世代への確実な継承を図るため、伊勢原市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の調査、保存、活用、人材育成に関する取組を推進します。						
めざす姿	市民の大切な資産である文化財の適正な保存・活用により、その確実な継承が図られ、市民が歴史文化に誇りや愛着を持っています。						
重点事業	文化財管理施設整備・運営事業						
施策構成事業	文化財保護事業費			地域文化財活用推進事業費			
評価							
進捗評価	概ね順調	評価の 判断理由	重点事業の成果指標については、概ね目標の達成が見込まれる状況です。 文化財保存室の機能移転については、建築住宅課、財産管理課に依頼し、必要となる条件整備を進めた結果、経費を要する一部の取組については先送りとしました。今後の計画については、改めて検討していく必要があります。				
施策推進上の課題・ 環境変化	旧堀江邸敷地に収蔵庫を設置する計画については、必要となる法的手続きの調査により、経費に変化が生じています。改めて方策の選択枝について調査し、実現可能性の高い方策を検討する必要があります。						
評価の経過	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度		
	概ね順調	概ね順調					
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策 推進方針	本市では伊勢原市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財を適切に保存しつつ、まちづくりへも活用していくことを目指し、文化財の調査、保存、活用、人材育成を四つの柱として、地域全体で文化財を継承していく取組を進めています。現状の課題としては、文化財の保存を図る文化財保存室の老朽化がありますが、その対策としては旧堀江邸への機能移転を計画しており、法的手続き等に課題があるものの、今後も推進していく方針としています。今後、詳細計画の見直しなどの対応をしていく予定です。 このほかの調査、活用、人材育成の取組については、引き続き計画的に進めていきます。また、長期懸案となっている常設展示についても、既存施設を利用した具体的な運用について検討していきます。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	R 8 実績値	R 9 実績値	R 9 目標値(方向性)
指標の定義							
文化財関連イベント参加者数	3,773人 (R3)	6,957人	7,816人				5,600人
いせはらの歴史文化や、日本遺産に関連するイベント等への延べ参加人数							
本市の文化財が適切に保存・活用されていると感じる市民の割合	47.7% (R4)	52.8%	47.0%				↗
市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合							
本市の歴史文化に誇りや愛着を感じる市民の割合	55.1% (R4)	53.4%	50.6%				↗
市民意識調査で「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した人の割合							

重点事業の取組内容			
事業名	文化財管理施設整備・運営事業		
事業内容	文化財保存室及び賃貸借の倉庫に保管している資料を旧堀江邸で一元管理するため、旧堀江邸の文化財等の受入体制を整備します。		
取組工程	項 目	令和6年度	
		計 画	実 績
	文化財保存室の移転・廃止	移転準備	移転準備
	旧堀江邸の整備	設計／地質調査	地質調査／条件調査
	文化財保管施設の移転・廃止	継続実施	継続実施
令和6年度 取組内容	●収蔵庫の設置に向け、地質調査を実施し、法的な手続きについて条件調査を行いました。その結果、必要な経費に変化が生じたため、一部の事業を先送りしました。		
重点事業以外の取組内容			
令和6年度 主な取組内容	●伊勢原市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の調査、保存、活用、人材育成の取組を進めました。 ●調査により評価が定まった文化財については指定、登録を進め、また、文化財の適正な保存に不可欠な収蔵庫の修理を行いました。 ●指定文化財、日本遺産の構成文化財について公開や体験イベントを開催し、また、ホームページで情報発信を行いました。 ●所有者と連携し、日本遺産の構成文化財の整備を進めることで、観光客の受入体制の充実を図りました。		